

森の温泉～駒の湯通信 (2016年)



小さな湯小屋ができ、日帰り温泉をスタートさせたものの、冬で工事が一時中断、その冬の間家族が帰省先で入院し、その間、配管掃除や雪かきをいろいろな人に手伝ってもらいました。本当にありがとうございました。心強く、有り難かったです。

応援団を結成してもらったので、今後について前向きに考えることができました。栗原市にも相談に行き、浄化槽を設置してもらい、トイレを常設することにし、せっかとお金をかけるのだから、休憩室や食堂をつくらうということになり、自分たちが好きな蕎麦を出すそばカフェの工事を始めました。



植樹でもお世話になっている宮城建設さんにプレハブの移動を手伝ってもらって工事が始まりました。同級生の昔久建築さんでお願いしましたが、予算の都合で、コンクリートも直接買い付けに行き、自分も含め、大工さんたちも基礎工事を行いました。被災前からよく知っている三浦設備さんで水道などの工事をしてもらいました。難工事でしたが、皆さんの奮闘のお陰で8月には飲食業の許可を取得し、8月11日から「そばカフェkomanoyu」を開業しました。



被災前からのお客さんである山建さんが所属する災害ボランティア団体「集結」の人たちが熊本地震の支援の後来てくださって、浄化槽の排水工事の手伝いと受付小屋の移動など助けてもらいました。本当にありがとうございました。

「集結」の仲間たち



デダさんと師匠のコンビも元はお客さんでした。



石巻のご夫妻も元お客さんでした。まだ仮設住宅にいながら手伝いに来てくれました。

家族が入院中、雪下ろしや配管掃除など。退院後もさまざまな作業を一人でできず、たくさんの方に手伝っていただきました。

ブログを読んでくださったり、新聞テレビで知って連絡をくださった方、様子を見に来たり、慰霊碑にお参りくださったり、お声掛け、ご寄付など本当に有り難いです。

浄化槽や源泉など温泉施設費用の一部を栗原市から助成していただきました。

皆さんからの義援金や募金などは建物の建設費用に充当させていただいています。今後は植樹や緑化などに使わせていただきます。

ここまで来られたのも、皆様のお陰です。本当に感謝です。

これからも400年のお湯を守り、次世代にこの地とお湯を残していきたいと思っています。応援をよろしくお願いします。